

平成30年度 農業委員会総会

# 議 事 録

日 時 : 平成30年6月8日 午後1時30分～

場 所 : 香川県広域水道企業団坂出事務所3階大会議室

署名委員

川 田 一 博

平 田 忠 司

坂出市農業委員会

出席農業委員 17名

1番 木下 得代  
2番 大原 眞路 (会長職務代理)  
3番 三木 洋一  
4番 川田 一博  
5番 吉田 宏明  
6番 山下 恭生  
7番 松下 良夫  
8番 井上 賀博  
9番 岡野 孝文  
10番 村井 孝彦  
11番 中村 康男 (会長)  
12番 藤本 俊彦  
13番 宮本 賢一  
15番 國重 幸代  
16番 穴吹 秀雄  
17番 梶野 和幸  
18番 大西 和男

出席農地利用最適化推進委員 14名

1番 平田 忠司  
4番 井上 雅史  
6番 中西 格  
8番 西久保 晋  
9番 猪熊 寿一  
10番 三野 善久  
11番 河合 茂夫  
13番 三木 幸作  
14番 濱崎 郷廣  
15番 大久保 久雄  
16番 三野 久米吉  
17番 古家 育雄  
18番 大西 正修  
19番 川井 隆夫

欠席農業委員 1名

14番 猪熊 幸雄 (委任状あり)

欠席農地利用最適化推進委員 4名

2番 茶本 恭弘 (委任状あり)  
3番 谷口 正行  
5番 細谷 秀樹  
12番 佐藤 隆信

事務局出席者

事務局長 細川 英樹  
事務局長補佐 岡崎 伸一郎  
事務局次長 黒木 弘美

### 【細川事務局長】

みなさんこんにちは、定刻がまいりましたので、ただいまより平成 30 年度坂出市農業委員会通常総会を開会致します。

開会に当たりまして、中村会長よりご挨拶を申し上げます。

### 【中村会長】

平成 30 年度 坂出市農業委員会 通常総会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、大変お忙しい中、綾市長様をはじめ、大前市議会議長様、東原市民建設委員長様、近藤香川県農業会議事務局長様、宮本建設経済部長様、横矢産業課長様のご臨席を賜り、盛大に総会が開催されますこと、厚くお礼を申し上げます。

ご来賓の皆様方には日頃より、本市農業委員会活動に多大なご理解とご協力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

また、本日お集まりの委員の皆様方におかれましても、定例会でのご審議だけでなく、それぞれの地域の農業者の代表者として、活躍して頂いておりますことに対しまして、心より感謝申し上げる次第でございます。

さて、わが国の農業・農村を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化と後継者不足などにより、耕作放棄地の増加など農業生産基盤の脆弱化が進行しており、非常に厳しい状況にあります。

また、近年は有害鳥獣による被害が広域化し、被害実態も深刻になっております。

国においては、アベノミクスによる経済政策の中で「儲かる農業、攻めの農業」を柱の一つとして、「担い手への農地の集積を加速する」という政策目標を掲げており、その目標を達成するための環境整備として一昨年の農業委員会法の改正があり、農業委員と新たに設置された農地利用最適化推進委員、更には農地中間管理機構との連携を図ることにより、農地の利用集積を推進して行くこととなります。

こうした情勢の中、本市農業委員会においては、昨年 7 月に新制度に基づく体制に移行し、農業委員会業務の重点として法定化された「農地利用最適化業務」の推進をはじめ、従前よりの農地法の許認可業務、担い手の確保・育成、遊休農地の把握と利用意向調査、農業者年金の周知と加入促進、農業者との意見交換会、坂出市農業経営者協議会への支援など、各種事業に鋭意取り組んでまいりました。

その取り組みに際しましては、市農政部局をはじめ、香川県農業会議、香川県農地機構、中讃農業改良普及センターなど、関係機関各位から格段のご指導・ご協力を賜りましたことに感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

### 【細川事務局長】

ありがとうございました。

続きまして、ご来賓の方々よりご祝辞を頂戴したいと存じます。

まず最初に、坂出市長 綾 宏 様 よろしくお願ひいたします。

### 【綾市長】

(内容省略)

### 【細川事務局長】

ありがとうございました。

続きまして、坂出市議会議長 大前 寛乗 様よろしくお願ひいたします。

### 【大前議長】

(内容省略)

**【細川事務局長】**

ありがとうございました。

続きまして、香川県農業会議、事務局長 近藤 弥 様よろしくお願ひいたします。

**【近藤事務局長】**

(内容省略)

**【細川事務局長】**

ありがとうございました。

本来でありましたら、ご来賓の方々皆様よりご祝辞をいただくところでございますが、時間の関係もございますので、ご臨席の方々のご紹介をさせていただきます。

- ・坂出市議会 市民建設委員長 東原 章 様でございます。
- ・坂出市建設経済部長 宮本 智裕 様でございます。
- ・坂出市産業課課長 横矢 一司 様でございます。

なお、公務のため、綾市長様、大前議長様におかれましては、ここで退席をさせていただきます。

本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。

本日の委員の出席状況でございますが、委員総数36名の内31名の出席をいただいております。従いまして、坂出市農業委員会総会会議規程5条によりまして、本日の総会が成立していることをご報告致します。また猪熊幸雄委員、茶本恭弘推進委員からは欠席届と委任状の提出をいただいております。また、細谷秀樹推進委員、佐藤隆信推進委員から欠席届の連絡をいただいておりますことを併せてご報告いたします。

次に、議長の選出でございますが、総会会議規程第6条によりまして、「総会の議長は会長が行う」と規定されておりますので、中村会長よろしくお願ひ致します。

**【中村会長】**

それでは、私の方で議事の進行を務めさせていただきます。

まず、本日の議事録署名委員及び書記を選任させていただきます。

議事録署名委員に、川田一博委員さん、平田忠司推進委員さんの2名を選任させていただきます。

なお、書記につきましては黒木次長にお願いいたします。

それでは、ただいまから、審議に移らせていただきます。

まず、第1号議案「平成29年度事業報告」を議題に供します。

平成29年度 事業報告につきましては、先ほどのご挨拶で申し上げました内容と重複いたしますので、お目通しをお願いいたします。

次に、平成29年度の主要業務について事務局より報告をいたします。

**【岡崎事務局長補佐】**

それでは、事務局より「平成29年度主要業務」につきまして、ご報告をさせていただきます。

資料の3ページから5ページをご覧ください。平成29年4月から平成30年3月までの活動状況でございます。

時間の関係もございますので、主な業務のみを申し上げます。

定例行事としましては、毎月7日開催の農家相談を合計12回、毎月20日開催の農地部会と農政部会を7月までに各4回開催し、新体制移行後は毎月20日に定例会として8回開催しております。

それから、5月に通常総会、7月に改選に伴う初総会と農業委員会業務説明のための全体会議を開催いたしました。9月には遊休農地解消の為の全体会議を開催し、各地区毎に遊休農地の現地確認を実施しました。

また8月と11月に香川県農業会議主催の農業委員研修会に参加しました。

その他、県内8市9町で構成する「市町農業委員会会長会」、8市で構成する「八市農業委員会会長協議会」、中讃地区3市5町で構成する「中讃地区農業委員会連合会」「中讃農業改良普及協議会」などを通じまして、各市町・関係機関・団体と連携を取りながら、農業委員会業務の円滑な推進に努めてきたところであります。

そのほかの業務につきましては、お目通しを頂きたいと存じます。

以上で、平成29年度「主要業務」の説明とさせていただきます

### 【中村会長】

続きまして、農地部会関係につきましの事業報告を、大原会長職務代理より報告をお願いいたします。

### 【大原会長職務代理】

それでは、私より第1号議案「平成29年度事業報告」のうち農地部会関連の報告をさせていただきます。

資料の6ページをお開きください

7月までの農地部会および8月からの定例会は毎月20日を定例日と定め、午前9時より開催しております。毎回、大半の方々にご出席を頂き、農地法等の許認可案件について審査を行いました。

審査にあたっては、申請の必要性・確実性・緊急性を精査するとともに他法令にも留意しながら審査しました。

また無断転用案件など事前に現地確認が必要と思われるものは、部会および定例会前日に会長職務代理および現地調査委員3名で現地調査を実施し、必要に応じて指導も行いました。

平成29年度における許認可案件については、下段の表にありますとおり、3条関係からその他の案件まで、通算で463件について審査を行いました。

前年度と比較して、全体で78件、約17haの減少となっております。  
農地法第4条と5条の農地転用は、合計で18件の減少、面積は12,422㎡の増加。  
利用権設定は、32件、184,957㎡の減少となっております。

29年度の内訳は、資料の10ページから13ページに掲載しておりますので、ご覧ください。また年度ごとの比較表は、資料の33ページから38ページに掲載しておりますので、ご覧ください。

次に、農地無断転用防止事業について

農地の無断転用は、税務課からの情報提供や農家相談等により発見する場合があります。

無断転用は、違法行為である旨を周知するとともに、適正な農地転用申請を提出することを指導してまいりました。

また、「農業委員会だより」でも、農地法の違法行為であることを啓発し、防止に努

めています。

資料の 8 ページをご覧ください。

定例農家相談は、毎月 7 日を定例農家相談日と定め、農業委員 1 名・推進委員 1 名の輪番制で出席を頂き、午前 9 時から 11 時まで農家の相談を受け付けました。

相談実績は、8 ページの表にあるとおりです。

また、遊休農地の相談に対しては、農地所有者に通知書を送付し、農地の適正管理を指導をしてまいりました。

次に、農地機構への農地の集積状況ですが、

農地集積専門員と地元農業委員、JA 職員、産業課職員と連携して、遊休農地の解消と新規就農者への支援を図りました。

相続等の届出・農地所有適格法人に対する勧告・和解の仲介については、9 ページにあるとおりです。

以上で、平成 29 年度 農地関係部門の事業報告を終わります。

### 【中村会長】

続きまして、農政部会関係につきましても事業報告を、同じく大原会長職務代理より報告をお願いいたします。

### 【大原会長職務代理】

それでは、私より第 1 号議案「平成 29 年度事業報告」のうち農政部会関連の報告をさせていただきます。

資料の 14 ページをお開きください

農政関係部門の審議事項につきましては、7 月までは農政部会として毎月 20 日を定例会日と定めて午前 10 時に開催し、8 月以降は定例会の中で第 9 号議案以降として上程し、農業経営改善計画認定申請、農業振興地域整備計画変更事前協議、新規就農計画認定申請等について審議を行いました。

さらには、全国農業新聞の推進、農業者年金の加入促進、有害鳥獣対策や女性農業委員の研修会等も実施しました。

農政関係部門での審議実績は、14 ページの表にあるとおりです。

次に、農業者との意見交換会の開催について

坂出市農業経営者協議会の会員と、坂出市長・中讃農業改良普及センター主席普及員・坂出市農業委員会役員による意見交換会を、平成 30 年 2 月 28 日に開催し、活発な意見が交わされました。

農業委員会だよりの発刊について

農業委員会だよりは、農業委員会唯一の情報発信の機関紙であることから、平成 23 年度から農業委員による編集委員を設け、編集委員会の中で内容等を協議し、「委員会だより」を編集してまいりました。

毎年 12 月に農業委員会の活動内容等を掲載し、市内全農家に配布しております。第 31 号「農業委員会だより」の主な掲載内容は、15 ページのとおりです。

次に、16 ページをご覧ください。

農地利用集積事業について

農業の中核的担い手である農地所有適格法人と認定農業者を確保・育成するため、農

用地利用集積計画を始めとする利用権の集積等を通じて、農地の有効利用、保有合理化の促進、地域農業の振興、農業構造の確立に努めました。

農地利用集積の実績は16ページの表のとおりです。  
目標の70 haには至りませんでした。順調な実績を上げております。

#### 市単独農地流動化助成金交付事業について

認定農業者が、新規に6年以上の賃貸借の設定をした場合に助成金を交付するもので、29年度は、2つの経営体に23,300円を助成しました。

#### 認定農業者等担い手の育成及び確保について

地域の担い手となる農業経営者の確保・育成及び新規就農者の支援をする為、関係機関と連携し、29年度においては、新たに認定農業者1経営体を認定しました。

#### 農業者年金業務について

農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図るため、制度の広報活動を実施し、現況届などの業務に努めました。

次に、18ページをご覧ください。

#### 経営改善支援活動事業について

認定農業者等、意欲と能力のある農業経営者で組織する『坂出市農業経営者協議会』に対し、関係機関の指導と協力を得て、先進地の視察研修・簿記記帳講習会・確定申告相談会などを開催し、知識の向上や会員相互の連携・意識の高揚に努めました。

会議の実施状況は表にあるとおりです。

#### 農地利用状況調査・農地利用意向調査について

市内全域を対象に、農地の利用状況を調査しました。また遊休農地の利用意向調査も併せて実施しました。

遊休農地所有者等に対して、利用意向調査を行なったことで、農地利用集積が進み、遊休農地解消に一定の成果があったものと認識しております。

一方で新規の耕作放棄地も発見され、合計面積ではほぼ横ばいの状況にあります。  
調査結果は39ページに掲載しておりますのでご覧ください。

以上で平成29年度 事業報告を終わります。

#### 【中村会長】

ただいま第1号議案につきまして報告がありましたが、この件につきましてご意見、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

#### 【中村会長】

別段、ご意見もないようですので、第1号議案 「平成29年度事業報告」については、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

< 異議なしの声あり >

#### 【中村会長】

ありがとうございました。 それでは、第1号議案「平成29年度事業報告」につい

ては、原案どおり承認することといたします。

続きまして、第2号議案「平成30年度事業計画（案）」を議題に供します。

第2号議案、平成30年度事業計画（案）では主要業務と平成30年度予算について、事務局の説明を求めます。

### 【岡崎事務局長補佐】

それでは、事務局より、平成30年度事業計画（案）の内、重点事項についてご説明いたします。

資料の21ページをお開きください。

農業委員会は、農業委員会等に関する法律に基づき、市町村に設置される行政委員として、農地法その他の法律により、その権限に属された事務及び農地等の利用の最適化、その他農地等の効率的な利用の促進に関する事務等を実施しています。

このうち、法令事務については、農業委員会の判断で事務処理がなされていることから、公平性・透明性が強く求められております。このことから、活動計画の策定、議事録の公表等、『農業委員会の見える化』により取り組むものとします。

その第1点目は、議事録の縦覧・公表

個人情報保護条例等に十分留意の上、農業委員会窓口およびインターネットでの公表。

2点目は、総会及び定例会の開催日の周知

「農業委員会だより」及び農業委員会窓口等の掲示をする。

3点目は、活動計画等及び点検・評価・公表

当該年度の活動に対する点検・評価、及び次年度の目標とその達成に向けた活動計画の検討であります。

農業委員の取組としては、① 活動の記録と報告、② 年間活動目標の設定と結果の報告、③ 定例農家相談の実施に取り組んでまいります。

22ページをご覧ください。

平成30年度においても、昨年と同様、利用状況調査と利用意向調査を実施し、担い手農家への利用集積を促すことにより、遊休農地の解消を図ってまいります。

遊休農地の解消目標面積は11haとし、委員1人当たり、3,000㎡以上を目標とします。

次に、23ページをご覧ください。

平成30年度農業委員会歳出予算について、説明をさせていただきます。

農業委員会予算 総額 5,001万6千円

うち農業委員報酬 1,491万円

報償費 15万4千円

旅費 11万円

交際費 7万円

需用費 87万円

委託料 61万8千円 などあります。

以上で事務局からの説明を終わります。

### 【中村会長】

続きまして農地関係部門については大原会長職務代理にお願いいたします。

### 【大原会長職務代理】

資料の24ページをお開きください

農地は、国民の基本的な食料の安定供給のための生産基盤であるばかりでなく、水源のかん養・洪水調整・大気の浄化・風致景観など、極めて多くの機能を有するかけがえのない資源です。

農地関係部門においては、多面的機能を有する農地を守るため、農地法を遵守し、農地法等の許認可業務を始めとする諸問題について、農家の立場を考慮しつつ関係法令に照らし、公平かつ迅速な処理を行う。

また業務の遂行に当たっては、透明性・公平性に留意し、『農業委員会活動の見える化』に努めるものとします。

#### 農地法等許認可業務について

定例会は、毎月20日(休日の場合はその前日)を定例会日と定め午前9時に開催する。

- 農地法第3条申請については、農地の下限面積や通作距離、経営状況等、農地の取得要件を十分調査し、農地が効率的・有効的に利用できるのか否かを審議する。
- 農地法第4条・5条申請については、特に転用申請の必要性、確実性、緊急性の3要素を満たしているか否か、土地改良区の同意や被害防除計画書の添付があるか否か、また、隣接農地関係者の同意の必要性などを十分調査するとともに、農業振興地域の整備に関する法律や都市計画法、建築基準法などの関係法令にも留意し、公平かつ公正な審議をする。
- 非農地証明願については、農地法施行前より非農地であるか、自然災害により農地としての復旧が著しく困難であるか、やむを得ない事情により20年以上にわたり耕作が放棄され農地としての復旧が著しく困難であるか等について、農業委員の現地調査を行い判断する。

#### 無断転用防止事業について、

無断転用は、毎年1ha程度確認していますが、大部分が住宅用地等であり、過去において既に完了しているものが多く見受けられます。

優良農地を守る為、農業委員による無断転用防止パトロールを行うとともに「農業委員会だより」や市広報紙を通じた啓発活動を併せて実施するなど、無断転用防止に鋭意取り組んでまいります。

#### 定例農家相談について

毎月7日(休日の場合はその翌日)を定例農家相談日とし、輪番制により実施する。相談内容は、相談ノートに記録し保存するものとする。

農地法第3条の2(農地及び採草放牧地を適正に利用していない者への勧告)農地法第3条の3(相続等で農地を取得した場合の届出)また、農地法第25条1項に基づく和解の仲介等に鋭意取り組む。

農地紛争などの和解の仲介については、27ページのとおりです。

以上で平成30年度 農地関係部門の事業計画(案)の説明を終わります。

#### 【中村会長】

続きまして、農政関係部門について、同じく大原会長職務代理に説明をお願いします。

#### 【大原会長職務代理】

資料の28ページをお開きください

目まぐるしく変化する農業諸情勢の中、本市農業経営基盤強化促進基本構想の実現の

ため、農業者の意見把握に努め、認定農業者や担い手の確保・育成、農地の利用集積に鋭意取り組むことにより、持続可能な力強い農業の実現に努める。また、農業者が老後に安心して暮らせるよう、農業者年金の加入推進にも努める。

#### 認定農業者等担い手の育成及び確保について

意欲ある農業経営者に認定農業者のメリット等の周知を行うとともに、中讃農業改良普及センター・市産業課・JA香川県農協等の関係機関との連携を図り、認定農業者等担い手の確保・育成に努める。

認定農業者3経営体、うち農地所有適格法人1経営体の増加を平成30年度の目標とします。

#### 農地集積支援事業について

認定農業者等、担い手への利用集積のため、農地中間管理機構・市産業課・JA香川県農協と連携を密にし、利用集積の拡大に努める。

集積面積60haを平成30年度の目標とします。

#### 経営改善支援事業について

坂出市農業経営者協議会は、農業経営の健全な発展、農業経営者の社会的・経営的地位向上に寄与することを目的とし、優良先進地視察研修、簿記記帳講習会、各種研修会の開催や交流会などの参加を通じて、会員相互の連携・研さんに努め、効率的かつ安定的な農業経営の確立をめざす。

平成30年度の活動目標は、29ページのとおりです。

資料の30ページをお開きください

#### 農業者との意見交換会の開催について

平成22年度より実施している認定農業者等の担い手育成を始め、農業者との「意見交換会」を市長・中讃農業改良普及センター・市産業課の出席を賜り開催し、本市農業の振興施策等につき意見交換を行い農業施策等に関する改善意見に反映させる。

意見交換会の時期は、平成30年10月を予定しています。

#### 農業者年金業務について

農業者年金の一層の加入促進を図るため、引き続き関係機関・団体と連携し、農家へのリーフレット配布等の広報活動や担当者の知識向上を目的とした年金業務担当者会を開催するなどの取り組みを行う。

以上で平成30年度 農政関係部門の事業計画（案）の説明を終わります。

#### 【中村会長】

ありがとうございます、ただいま第2号議案につきまして、大原会長職務代理より報告がございましたが、この件について、ご意見、ご質問等はございましたらご発言をお願いいたします。

#### 【三木委員】

23ページの予算のところをお尋ねします。旅費と委託料が29年度当初予算と比べて大幅に減っている理由はなぜでしょうか。

#### 【岡崎事務局長補佐】

これは、農業委員会事務局には農地台帳システムがありまして、全国農地ナビとの連

携をするためのデータを入力する事業が補助事業となる予定で計上しておりましたが、平成 29 年度は補助事業対象にならなかったため執行されず、30 年度はそれを計上していないからです。

**【細川事務局長】**

旅費につきましては、平成 29 年度は 3 月に県外視察研修を行いました。県外視察研修は 3 年間の任期のうち、初年度と 3 年目に行います。平成 30 年度は 2 年目であるため視察研修の予算がついていないからです。

**【三木委員】**

わかりました。

**【中村会長】**

ほかに、ご意見、ご質問等はありませんか。

< 異議なしの声あり >

**【中村会長】**

別段、ご異議もないようございますので、  
第 2 号議案 「平成 30 年度事業計画（案）」については、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

< 異議なしの声多数 >

**【中村会長】**

ありがとうございました。第 2 号議案「平成 30 年度事業計画（案）」について原案どおり承認することといたします。

次にその他案件として、事務局の方で何かございましたらお願いします。

**【細川事務局長】**

長時間ご審議いただきまして、お疲れのところ申し訳ございません。農業委員様、推進委員様が一同にお集まりいただいておりますので、この場をお借りしてご説明させていただきます。

お手元に「農業委員会通常総会追加資料」と「農業委員会活動記録簿（農地利用最適化業務報告用）」を 5 枚ずつお配りしているものをご覧ください。

昨年 7 月の改選からもうすぐ 1 年となりますが、委員・推進委員の皆様にはそれぞれの地域で、農地利用最適化活動を推進していただいております。月額報酬以外に平成 29 年度農地利用最適化推進加算分を、5 月 1 日付けで振込させていただいております。その基になるのが、活動していただいた後にご提出いただく最適化活動記録簿です。

この活動記録簿の提出状況によると、地域によって若干、活動状況に差が出てきていると思われま。底上げする意味もありまして、今回、追加資料 1 ページの「農地利用最適化地区会議」という表を作っております。昨年行った農地利用状況調査の班割りを基にしております。各地区の集積目標は、第 2 号議案、総会資料 29 ページ、平成 30 年度集積目標 60 ha を承認いただきましたところでございますけれども、これを農業委員、推進委員で人数割りしております。本日は地区ごとに班長を決めていただければと思います。

**【梶野委員】**

意見が出にくいと思いますので、次回の農業委員会定例会までに決めて来るということでしょうか。

**【細川事務局長】**

そうですね。この7地区で班長を決めてください。事務局からのお願いとしては、地区会議として月一回程度、地区で情報交換をしていただきたい。農業委員さんは月に一度定例会がありますが、推進委員さんはなかなかお目にかかることはありません。議案はお送りしておりますが、一方通行になりがちでございます。地域のなかで情報交換をしていただいて、活動していただきたい。こうして各地区の底上げをしていただきたいところがございます。その方法は追加資料の2ページに「農地利用最適化推進委員の皆様をお願いしたいこと」という農林水産省のパンフレットを掲載していますのでご覧ください。

こういう資料をご活用いただき、最適化活動のさらなる推進をお願いいたします。事務局からは以上です。

**【中村会長】**

それでは以上をもちまして、本日の案件は全て終了いたしました。  
これで議長を解任させていただきます。  
ご協力ありがとうございました。

**【細川事務局長】**

最後に、閉会に当たりまして中村会長よりご挨拶を申し上げます。

**【中村会長】**

(内容省略)

**【細川事務局長】**

それでは以上をもちまして 平成30年度坂出市農業委員会通常総会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

14:35 終了

上記顛末を記し、坂出市農業委員会通常総会の事実と相違ないことを認める。

平成30年6月8日

署名委員

署名委員